

数え100歳 百寿のお祝い 山内ひさしさん

満99歳を迎えた山内ひさしさん(◎弘川)に、10月6日(水)、町から百寿のお祝い金などが送られました。ひさしさんは、8人の子ども、7人の孫、10人のひ孫に恵まれ、97歳になるまで畑仕事を続け1度も病院に通ったことが無いなど、とても健康的に過ごしてきました。今でも毎日3食しっかり食べて元気そのものです。町長から「これからも長生きしてください。」と声をかけられると「ありがとうございます。」とはっきりした声でお礼の言葉を話しました。これからも、ますます元気にお過ごしください。



人生のモットーは「正直は一生の宝」だそうです

1品100円で旬の味を提供

9月28日(火)、南三陸町飲食店組合主催の「屋台村・秋の食彩祭り」が、松原公園特設会場で開催され、秋サケのチャーハンやいものこ汁など、秋の味をテーマにした13種類のメニューが1品100円で提供されました。屋台村は、地元食材のPRを目的に、町の「ほらほのまちづくり支援事業」を活用して実施したもので、昨年に引き続き2回目の開催です。家族3人で訪れたという阿部祐花さん(◎汐見町)は、「たくさんのメニューがあって、どれを食べるか迷いました。海鮮カレーうどんがおいしかったです。」と話してくれました。



朝から降り続いていた雨も止み、大勢のお客さんが訪れました

入谷の祭りと打囃子

9月19日(日)、入谷八幡神社の例大祭が行われ、豊作と家内安全を祈願する伝統芸能「入谷打囃子」が奉納されました。入谷打囃子は、入谷地区の4つの沢ごとにある打囃子溝が、毎年持ち回りで奉納を担っており、今年は水口沢打囃子溝が当番溝です。哀調を帯びた笛と太鼓の音色に乗り、軽やかに舞い踊る獅子を操る獅子あやし。華やかな牡丹の花飾りを付けた屋台が、黄金色の稲の間を神輿とともに練り歩き、大勢の見物客が秋の風情あるお祭りを楽しみました。



「御旅所」と呼ばれる一本松の下で舞う獅子と獅子あやし

生徒も参加 伊里前小学校でバレエの公演

10月6日(水)、国内外で活躍している「スターダンサーズ・バレエ団」によるバレエの公演が伊里前小学校で行われ、生徒と保護者の皆さん約200人が、体を使って感情を表現するバレエの動きなどを学んだほか、シンデレラの舞台上演を観賞しました。この公演は、文化庁の「子どものための優れた舞台芸術体験事業」として行われたもので、舞台のシンデレラには、事前にワークショップで指導を受けた5、6年生22人も参加。村人役で出演した三浦洋人さん(◎館浜)は、「みんなの前で演技できて楽しかった。練習どおりうまくできたと思います。」と満足げに話してくれました。



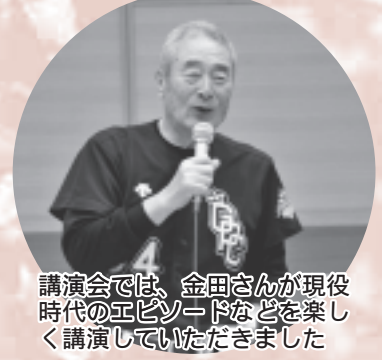
出演者全員で公演終了後の舞台あいさつ

往年の名選手のプレーに感動

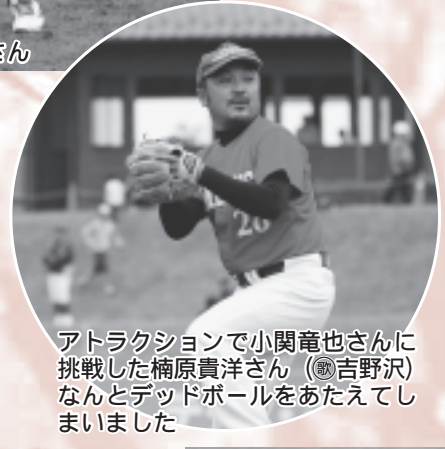
10月3日(日)、南三陸町合併5周年記念事業「宝くじスポーツフェアドリームベースボール」が平成の森しおかぜ球場で開催され、400勝投手の金田正一さんをはじめとするプロ野球名球会とプロ野球OBクラブの皆さん24人が南三陸町で往年のプレーを見せてくれました。町内外から集まった450人の小中学生を対象にした、少年少女ふれあい野球教室や「私の野球人生」と題した金田さんのふれあい講演会が行われたほか、選手のサイン入りバットなどが当たる「ドリーム抽選会」やホームラン競争などのアトラクションも行われました。最後のメインイベントは、金田さん率いるドリームチームと町長率いる南三陸町選抜チームが対戦する「ドリームゲーム」です。試合は、ドリームチームの「好プレー」と南三陸町選抜チームの「珍プレー」が続出し、10対0でドリームチームの圧勝となりましたが、ドリームチームの皆さんの懐かしい打撃フォームや投球フォームを目の前で観戦できたスタンドからは、大きな歓声が沸き起こっていました。



野球教室で守備の構えを教える高橋雅裕さん



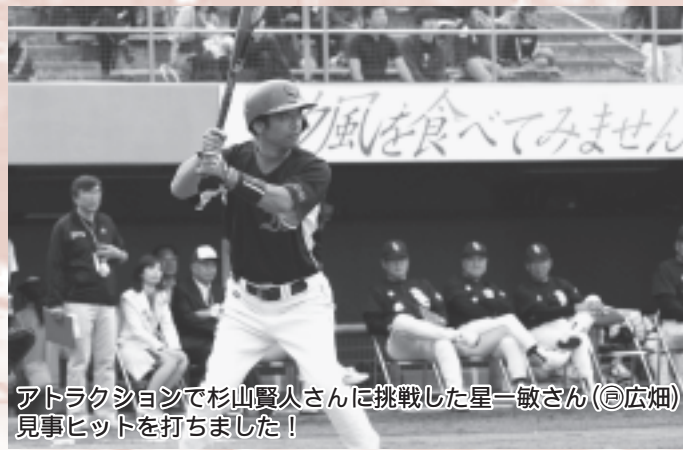
講演会では、金田さんが現役時代のエピソードなどを楽しく講演していただきました



アトラクションで小関竜也さんに挑戦した楠原貴洋さん(◎吉野沢)なんとデッドボールをあたえてしまいました



ドリームチームの先発は鈴木啓示さん往年の投球フォームから伸びのあるストレートを披露してくれました



アトラクションで杉山賢人さんに挑戦した星一敏さん(◎広畑)見事ヒットを打ちました!



二塁打を放ち敢闘賞をもらった三浦智弘さん(◎上の山)



試合終了後に固く握手をする選手の皆さん



山本浩三さんが客席に座って一緒に応援するサプライズも!